

## 授業科目

## 公衆衛生看護管理学

担当教員名 宇田 優子、稲垣 千文	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

## 授業の概要

2年次公衆衛生看護学実習1、3年次公衆衛生看護学実習2の学習内容を素材として、公衆衛生看護活動計画を立案する。計画立案に必要な知識及び健康危機管理を座学で学ぶ。

## 授業の目的

公衆衛生看護活動における看護管理の機能と特徴および公衆衛生看護活動を総合的に理解する。

## 学習目標

1. 公衆衛生看護管理の機能と特徴を説明する。
2. 3年次後期の公衆衛生看護学実習2の情報を基に、地域の健康課題を分析する。
3. 効果的で効率的、根拠と予算に基づいた公衆衛生看護活動計画を立案する。
4. 公衆衛生看護活動の評価と政策立案を説明する。
5. 健康危機に対する公衆衛生看護管理の機能と特徴を説明する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	公衆衛生看護管理の機能と特徴	講義	宇田 優子
2	地域の健康課題の分析、活動計画立案と評価、政策立案	講義・グループワーク	宇田 優子
3	3年次公衆衛生看護学実習2の情報を基に、地域の健康課題を分析する	講義・グループワーク	宇田 優子
4	効果的で効率的な公衆衛生看護活動計画を立案する(1)	講義・グループワーク	宇田 優子
5	効果的で効率的な公衆衛生看護活動計画を立案する(2)	講義・グループワーク	宇田 優子
6	公衆衛生看護活動計画の発表	グループ発表、全体討議	宇田 優子 他
7	地域の健康危機管理	講義	宇田 優子 他
8	まとめ	講義	宇田 優子

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	第3版 公衆衛生看護学 jp	荒賀直子、後閑容子	インターメディカル			既に購入したものを使用する。
	公衆衛生看護学	津村千恵子、上野昌江	中央法規			既に購入したものを使用する。
	国民衛生の動向 厚生指針増刊		厚生労働統計協会			既に購入したものを使用する。
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

授業態度 30%程度  
筆記試験 70%程度

## 履修上の留意点

- \* グループワーク、発表に積極的な態度での参加、発言を望む。
- \* 内容は変更する場合がある。

## オフィスアワー・連絡先

k505研究室。5～12月までは実習指導で不在が多いため、来室時は事前に時間をメールにて予約して下さい。

yuko-uda@nuhw.ac.jp